

いなみ町

# 議会だより

No.56  
2013.1



## 12月定例議会 「消防団訓練始め式」

議案審議	P2～P3
一般質問「ここが聞きたい」9人が登壇	P4～P12
常任委員会・決算審査特別委員会報告	P13～P15
裏表紙・あとがき	P16

# 12月定例議会

12月10日から12月20日まで開かれ、19議案を審議し原案通り可決しました。  
また、平成23年度決算認定9件についても承認しました。

## 平成24年度一般会計補正予算

第3号 9,779千円(専決承認)

第4号 217,204千円(可決)

補正後の総額 5,275,059千円

の月額料金について説明を求めます。

【答弁】

県の事業を活用し、対象地区は印南、切目、切目川の各地区で試行的に行います。

内容は緊急通報装置

とともにインターネットを介して離れた家族の携帯電話に情報を発信し、家族がそれを確認できるシステムです。

ランニングコストは、月々980円を予定しております、負担は家族の方にお願いをします。

【質問】

防災関連の予算で非常用備蓄食糧予算が110万円の減額となっていますが、その理由と入札相手をどの様に決定したのでしょうか。

【答弁】

入札の差額による減額で、入札の請負の相

手方は田辺市の業者です。

【質問】

農業振興費の中に野菜・花卉の補助事業が計上されていますが、内容の説明を求めます。

【答弁】

ハウス立替が27棟で1304万9千円の事業で、そのうち3分の1の370万円の補正予算を計上しました。

【質問】

防災に関わる予算で切目小学校に太陽光発電の設備の工事費用として300万円が計上されていますが、防災分野とのことで計画は総務課で、実施は教育委員会という形式でいいのですか。

【答弁】

予算の対応は防災関連の予算で、管理は教

【質問】

総務費で庁舎建設検討委員会の報酬について、6月議会で10回開きその報酬として85万円の予算が計上されましたが、50万円に減額した理由はなんですか。

【答弁】

当初17名のメンバーで10回の委員会を開催する予定でしたが、5回の委員会の開催ですんだための減額です。

【質問】

防災関連の予算で備蓄食糧保管施設を修繕するために200万円の予算

を計上していますが、具体的な内容はどのようなものですか。

【答弁】

あけぼの交流センター、旧稲原幼稚園、旧切目川保育園、真妻保育園の4つの修繕費です。

修繕の内容は換気扇の設置、遮光工事、施錠などが主なものです。

【質問】

老人福祉に関する予算の中に見守りシステム構築委託料として510万円が計上されていますが、対象地区、具体的な内容、利用者

育委員会で対応するのが望ましいと考えています。

2名の教育委員を承認しました。

### 【質問】

消防団員の健診予算が30万6千円減額されていますが、原因はなんですか。

### 【答弁】

受診者数が予定よりも少なかったのと、検診項目を受けなかった団員があつたためです。

### 【質問】

4ヶ所の備蓄食糧保管施設の修繕費200万円の予算を計上していますが、各施設は、もつと老朽化が進んでいるのではありませんか。200万円の予算で対応できますか。

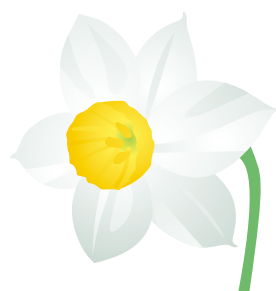
### 【答弁】

今回の修繕は必要最小限の修繕で対応できます。

山下 伸子 氏(新任)



森 秀材 氏(再任)



#### 2件の請願を受理し、継続審査中です。

- ・郵便局窓口営業についての請願書
- ・オスプレイの配備撤回および低空飛行訓練の中止を求める請願

#### 3件の条例を可決しました。

- ・印南町暴力団排除条例の一部改正
- ・証人等の費用弁償に関する条例の一部改正
- ・職員の給与に関する条例の一部改正

#### 6件の特別会計補正予算を可決しました。

国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業・印南簡易水道事業・滝ノ岡専用水道事業・農業集落排水事業

#### 人権擁護委員候補者の推薦(石橋理代氏)

#### その他3件

- ・財産の処分(久保町有林立木処分 7, 225千円)
- ・御坊広域行政事務組合の規約の変更
- ・辺地総合整備計画の変更

#### 議員提案2件

(会議規則の改正、委員会条例の改正)





# 一 般 質 問

## 急傾斜対策事業に町単独の補助金を！

玉置 克彦 議員

避難道・町道橋整備  
の取り組み状況及び  
今後の計画について

土砂災害防止対策を！

**質問** 津波犠牲者ゼロを目指し、避難困難地域の予防的高台移転の考えはないのか。

**答弁** 地震が来れば必ずと言っていいくらい橋が崩れる。切目橋の橋梁耐震化を早急に図るか、もしくは歩道橋を早急につけなければならぬか、と思いますが、いかがですか。

**答弁** 建設課長 島田地区では、避難するのが非常に困難なため、橋の耐震化、歩道橋の設置についても財源確保に努め、事業推進を図ってまいりたいと考えています。

**質問** 当町の約7割が山林であり、その谷あい

に集落が形成されています。台風等豪雨により裏山が崩れないか、地震により地滑りが発生しないかなど住民からの不安の声があります。

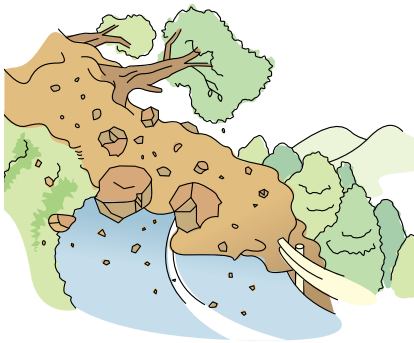
**答弁** 建設課長 町においての地滑り対策やがけ崩れ対策など、対応状況についてお聞きします。

**再質問** 危険個所がまだ632ヶ所あるということ、防災の観点として、

小規模崖崩れ対策事業につきましましては、現在2地区について工事中であり、21地区については、要望してございます。

て砂防事業については、今後重要な事業であると考えますが、単独事業で事業化する考えはないでしょうか。

**答弁** 建設課長 今後の財政負担や個人の財産を守る側面もあることから、一定の負担金についてはやむを得ないと判断いたしております。



切目川河川改修・災害関連普及事業について



**質問** 下流域への影響

がかなり心配されます。切目大橋右岸側が削られたままになっております。

**答弁** 建設課長 県の修繕費等を活用しながら、住民の不安を取り除いて欲しいという事でお話はさせていただきます。

**再質問** 早急な復旧が望まれ、県に対して強く要望してゆくべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答弁** 建設課長 引き続き県へ要望して参りたい。



## 地方地区内水被害対策を問う

**質問** 地方地区の内水被害については、本年度

詳細な調査を行い、有効な対策と方針の検討の中、予算について6月補正対応を行っています。調査結果はどうなのか、有効な対策を講じているかお聞きします。

**答弁** 建設課長

特に今回、地方地区の内水の主な原因として水路の流下能力不足と、水路と印南川の河床の高さに差がない事で、内水異常状態が発生します。検討の結果、複数の対策法が提案されていますが、内水排除の効果、事業実施の実現性、施工の難易度、経済性等を総合的に判

**質問** 検討委員会提言書に、かえるの里は盛土部分が

あり、地盤沈下が懸念されるとありますが、建設には、やはり不適切であると考えていますかお聞きします。

## 印南地区備蓄倉庫の早期実現を！

断し、対策を決定していきたい。

**質問** 非常用備蓄食糧

対策については、特に印南地区へ備蓄倉庫を整備することを先の議会において、前向きに検討することとした。来年度の事業ヒアリングを終了しましたが、倉庫建設について、どのように整備を考えておられるのかお聞きします。

**答弁** 町長

備蓄倉庫というだけではなくて、防災センター的な機能を持たせたような施設の整備も視野に入れながら、検討していきたい。また、このことについては慎重に取り組んで行きたいと考えています。



## 「新庁舎建設」実現はいつになるか！

堀口 晴生 議員





# 一般質問

## 人口減をくい止める対策は

廣野 英幸 議員

**質問** 産業と教育のまちづくりを構築し、人口減少をくい止める対策についてお聞きします。

本町の基幹産業は第一次産業でありませんが、第五次長期総合計画に住民と行政がそれぞれ果たす役割を分担し、協働によるまちづくりを進めるとあります。

農林漁業の振興とその教育のあり方についてお聞きします。

**答弁** 産業課長

農業振興普及所行政が農業振興を図ってきた時代ではなく、例えば農協の生産者部会の団結力が大きく効果を発揮していることから、印南町の農業の先頭を切つてやっていただいています。今後も協議しながら、行政としての役割

割を、遅れないように進めていきたいと考えております。

林業振興につきましては、山をどのよう維持管理し、今後の発展につなげていくかが大きなウエイトを占めています。行政公共機関の意思が大きく反映して今後の施策になってくると考えます。

漁業振興につきましては、漁業者の意向と考えがウエイト占めてくる本町では日高漁業協同組合の漁業振興方針の意向を酌みながら取り組んでいきたい。

**答弁** 教育長

各小中学校において、地域の歴史産業防災人権、福祉、又職場体験、農業体験学習を主体的、創造的、協働的に取り

組む態度を育て、愛着が生まれてこそ郷土愛に繋がるものと考えています。

## 役場庁舎建設について

**質問** 検討委員会から提言書が提出され、それを基に役場内にプロジェクトチームを立ち上げ、協議するそうですが、プロジェクトチームを構成する職員数と選考基準についてお聞きします。

検討委員会から提言書が提出され、それを基に役場内にプロジェクトチームを立ち上げ、協議するそうですが、プロジェクトチームを構成する職員数と選考基準についてお聞きします。

**答弁** 総務課副課長

管理職だけでなく幅広い年代の職員を横断的に人選し、15名程度を想定しています。

**再質問** プロジェクトチームの果たす役割についてお聞きします。

プロジェクトチームの果たす役割についてお聞きします。

**答弁** 総務課副課長

新庁舎建設の向けての庁舎の位置や規模などについて協議検討を行い、最終的に町長が庁舎の位置、庁舎建設事業について決定するものと考えています。





**質問** 東日本大震災では宮城県や福島県などを中心にピーク時には220万世帯に断水被害が発生しました。

東南海・南海地震の発生が予想されるもとで水道施設の対策を急ぐ必要がある。町の浄水場や送水管などの建設年数の実態は。

**答弁** 生活環境課長

町内には浄水場が6ヶ所、配水池は30ヶ所ある。最も古い施設で39年を経過している箇所もあった。

管路も古いもので50年を経過している箇所もあった。

**質問** 町の水道施設の実態の答弁で状況が理解でき

た。「水」は一時たりとも欠かせない貴重なものである。大災害時に町民に対する「水」の供給を確保するために水道施設の耐震化を

促進する必要があると考え

**答弁** 生活環境課

現在、実施している印南原・切山水道統合事業はH27年度に完了予定で耐震管を採用している。H27年度には耐震化率は24.1%になる。

今後、老朽管更新事業等も活用し、計画的に順次耐震化を進めていく。

## 12月の防災訓練を今後どのようにいやすか

**質問** 12月1日、印南

津井、切目、山口、切目川の各地区で防災訓練が行われ、1,300人の町民のみなさんが参加した。今年の自主防災組織連絡協議会のワークショップで地域課

題や避難ルート・場所などが話し合われ、その取り組みの一環として、12月1日に防災訓練が行われた。

今回の防災訓練で一番重視したことは何か。

**答弁** 総務課長

大津波を引き起こす大地震が発生したとき、住民の皆さん全員が確実に避難できるように体制を築くとともに、津波に対する意識の高揚を図ることである。

**質問** 各地区の関係者に話を伺ったが、それぞれの地域で色々な課題があることもわかった。

印南町は急速に高齢化が進んでいる。避難が必要になった時、高齢者、身体にハンデイを持つ人、自力で移動できない人などの対策が必要になってくる。

今回の防災訓練ではその対応がなかった、と感じたが、行政と自主防災連絡協議会との間でどの様な話し合いが行われたのか。

**答弁** 総務課長

要援護者の対応ですが、ワークショップの中で車を

利用する、タンカを利用するなどの話し合いは行われてきた。

今回の訓練では各地域に「負傷者」役を決めて訓練を行った。

**質問** 今回の防災訓練の総括はいつ、どのような形で行うのか。

H25年1月のワークショップにはかり、今後どのように進めていくか検討し、次年度に更にワークショップを行い訓練を繰り返していく。

**質問** 各地区の自主防災組織はいろいろの形態で運営されている。

また各地区に1つの自主防災組織のところもあれば複数の所もある。今回の防災訓練は自主防災連絡協議会の事業の一環であるが、行政と自主防災連絡協議会の役割分担はどの様なものであったか。

**答弁** 総務課長

自主防災組織のみなさんは避難していただいた。行政側は「負傷者」役、通行止め箇所への配置。集合同所、避難場所などに職員を配置した。役員職員の参加は59名であった。

## 水道施設の耐震化を進めよ

榎本 一平 議員





# 一般質問

## 在宅医療介護に係る支援体制について

村上 誠八 議員

**質問** 介護する人への介護支援体制についてお聞きします。

**答弁** 住民福祉課長

日高圏域内での体制作りですが、訪問介護入浴支援、訪問診療の24時間体制を図り、在宅介護支援の整備を進めていくよう考えています。介護支援者の負担軽減についてもショートステイサービスの充実を促進し、負担軽減に努めます。

**再質問** 郡内での介護施設の増設、増床の可能性はありますか。

**答弁** 住民福祉課長

特別養護老人福祉施設は600床、老人保健施設は284床、県平均を上回り充足している。

ます。

医療介護施設にしても充足の値にあります。介護施設の増床については、平成26年度にかけ計画されています。

**再質問** 介護中の緊急入院の病床確保体制はとれますか。

**答弁** 住民福祉課長

御坊、日高圏内において病院の受け入れ態勢により94%の体制ができていますが、更に体制の充実を図っていきます。

**再質問** 介護費用の軽減対策はありませんか。

**答弁** 住民福祉課長

介護医療が充実すれば費用は上がります。適正な受診、生活機能の充実、早期検診治療

による医療費の削減、その認識が必要であり、介護負担についても自助努力の中で負担して頂きたい。

## 磯根漁業の衰退について

**質問** 磯根漁場の海産物の収穫量が減少の一途であります。漁場の再生を図るには圃場調査が必要ではありませんか。

**答弁** 産業課長

調査については、1件県水産試験場が比井漁協で調査し、水温の上昇によるという結果です。対策としては、漁協、紀州日高漁協とも強調し、郡沿岸全体の中で

検討していく。

**再質問** 町の代表魚イサキの消費PRについて、代名詞にできないか。

**答弁** 産業課長

イサキはツウには重宝されているが、漁獲量が少ないため、町内での消費も少ないためPRに踏み込めないという事情がありました。今後日高のクエのよう

に漁獲者、地域の料理業者、宿泊業者の方、住民の一本化協力による消費活動を図れるように努めたい。







**質問** 検討委員会から提言書を受け、庁舎移転に対して町長が判断・決断された方向性を、お聞きします。

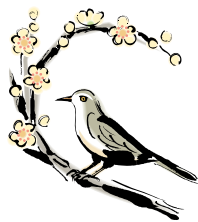
**答弁 町長** 庁舎の高台移転については必要であると、考えています。

**再質問** 提言書に、盛土部の地盤沈下が懸念されるとあります、一般論では住宅を建築する際には盛土部分は懸念されず。

しかし、現代の日本の建築技術では、盛土部分の掘削の深さは70mの技術を誇り、旧計画での庁舎建設候補地であった「かえるの里」の盛土部分は15〜20mであり通常範囲と聞きます。庁舎移転の最大の目

的は、切迫の危機にある南海トラフ巨大地震と津波被害から、防災の拠点であり、住民サービスの拠点でもある庁舎を、一刻も早く高台に移転することが極めて喫緊の課題であり、盛土という先入観で根拠なき議論に時間を費やすことは、本来の庁舎移転の目的からみて本末転倒と考えるが、町長の考えは。

**答弁 町長** 今後、プロジェクトチームで検討されるものも含め、最終的に判断していきます。



**質問** 平成25年度に向けての当初予算編成の方針が定まりつつあり、25年度どのような政策を図り、町政マニフェストにある産業の振興、福祉の充実、防災のまちづくり、教育の充実、行財政改革をどう履行していくのかを、お聞きします。

**答弁 町長** 重要な政策は、まず防災対策であると考えています。

**再質問** 24年3月議会において、私の福祉の充実の質問に対し「町内関係団体等をつくる協議会の立ち上げを考えている」という答弁でしたが、

## 「平成25年度の日裏町長の政策について」の考えを問う

考えは。

**答弁 町長** ごもつともなことだと思います。

町内には、福祉関係団体等を中心とした、様々な分野の団体や住民代表の方により構成されている印南町社会福祉協議会があり、町内に新たな福祉の協議会を立ち上げることも、既存の印南町社会福祉協議会の充実を図り、多様化する福祉ニーズにこたえていくことが最も重要と私は考えますが、町長の

## 「庁舎建設に関する提言書」を受けて

井上 孝夫 議員





# 一般質問

## 国体開催について

藤敷 利広 議員

**質問** 「紀の国和歌山国体」成功に向け準備が進められようとしています。印南町ではゴルフ競技と自転車ロードレースが開催されますが、競技開催に要する町の財政負担は、どのようになりそうですか。

**答弁** 教育課長 自転車ロードレースに対する安全対策の基本部分については県が全額、競技運営費については、自転車競技、ゴルフとも3分の2が県の負担。ただしリハーサル大会については、県が半額負担の見通しとなります。今後については十分協議を重ね県の負担割合を多く求めていきたいと考えています。

**再質問** 自転車ロードレースについては特に県からの強い要請があったと聞いていますが、このような場合でも、関連費用は同じ条件で負担していくことになりますか。

**答弁** 教育課長

当町としましては、特にロードレースの競技につきまして、開催決定時の協議内容を踏まえ県に特別割合を求めていきたいと考えています。具体的に言いますと歩道等について開催までに出来る限り整備をしてほしいと要望しているところです。

### プレミアム商品券について

**質問** この商品券は商工業の振興を目的に町補助金を充当するものです、その効果について、現時点の販売実績と使用状況についてどのようになっていますか。

**再質問** 高齢者の生活を維持していく上で日用品や燃料等を扱う小売店が身近に

**答弁** 産業課長

さる24年11月19日より商工会ほか町内8店舗で販売、すでに完売しています。12月10日現在約40%の換金率の報告を受けており、使用された店舗は30店舗です。

**再質問** この「印南お得心にかえる商品券」には購入申込書というのがあり氏名と住所の書く欄があります

が、市と書かれています部分があります、他町村の方がこの商品券を購入してもいいのですか。

**答弁** 産業課長

この様式に市があるという点については指摘の通りです、厳正に審査し核当しない場合補助金を出さないとすることも考えられます。

### 真妻地区の振興策について

**質問** 高齢者の生活を維持していく上で日用品や燃料等を扱う小売店が身近にあることは、心強く安心できますが、近く閉店するとの事ですが地域住民は不便を感じているところですか。

**答弁** 町長

地域住民の主体性のある行動に積極的に支援していきたいと考えています。

**再質問** 防災も大事ですが、商店がないと言う現状がそこに迫ってきています。

**答弁** 秘書政策室長

今年度中に再度ワークショップを開き前向きに進めていこうと思います。しかし地域に住む住民が自ら取り組まなくては、補助金を出してもそれで終わってしまうので継続できる様に対策を考えています。





# ここが聞きたい

## 新庁舎建設事業について

**質問** 庁舎建設検討委員会の提言書の中身は簡単に言いますと「お金を使わず、高台に安全・安心できる庁舎を早く建てなさい。」ということだと思います。

新たな建設用地の買収についての意見がありました。どのようにお考えでしょうか。

時間的條件や財政面を考慮した場合、非常に難しい条件と考えますが、具体的な候補地をイメージされていますか、それとも白紙の状態でしょうか。

**答弁** 町長

拠点の施設となるべき施設でございます。

**質問** 白紙の状態だと相当時間がかりますが、時間がかかればかかるほど住民の危険度が増します。喫緊の課題である庁舎建設事業を早急に実施するには、「かえるの里町有地」が現実的であると解釈してよろしいのでしょうか。

庁舎を建設するには時間がかかっても、それはいたし方ないことである。

**答弁** 町長

庁舎の建設に関するプロジェクトチームというのは、これで終わりでございませぬ。

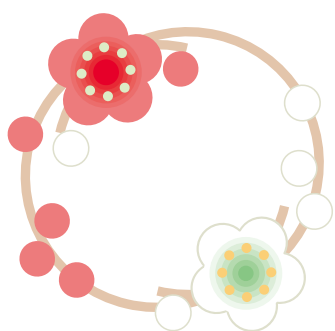
**質問** 町長は、当初の凍結について、いち早く判断を下されました。庁舎建設も町長が判断しないと建設できません。しかし、今回は、検

討委員会の提言書をいただいても判断されず、役場庁内職員のプロジェクトチームを立ち上げて、更に検討すると言われま

す。庁舎建設検討委員の皆さんには、前もってこの事は何も話されていなかったということですが、これでは検討していただいた委員の皆様方に失礼ではないでしょうか。

**答弁** 町長

庁舎の建設に関するプロジェクトチームというのは、これで終わりでございませぬ。



**質問** 農業集落排水事業が整備されている地区で住宅を建設する場合、排水管に近い場所は、分

担金を支払って加入すればよいわけですが、遠い場所は工事費が高くなります。農業集落排水事業の計画地内では、合併浄化槽補助金が受けられない規則になっていま

す。このことは、行政にとつて、制度上当然であるということですが、住民目線からは、不公平感が生じます。古井、山口、

宮ノ前の供用地区でも合併浄化槽設置補助金を受けられるような施策はありませんか。

生活環境課との調整は必要だと思いますが、若者定住促進の観点から印南町独自の補助は考えられないでしょうか。

**答弁** 町長

今後考えていきたい。

## 本当に印南町の将来を！

岡本 庄三 議員





### 新庁舎建設事業の財源は

西山 徹 議員

**質問** 新庁舎建設事業

については、検討委員会を設置し、提言書を受けたところでございますが、町民が納めた税金をできるだけ節約し、かつ若者世代への負担を残さないとありますが、財源については提言書を受け取る以前に考えておかないかと思えますが、どのような財源を予定されているのか、町長のお考えをお聞きます。

**答弁** 町長

財源につきましては、当初計画のとおり公共施設等整備基金の活用を考えており、緊急防災減災事業債を引き続き要望してまいりますが大変厳しい状況でありますが、国・県における施策の動向を注視しながら、財源確保に取り組んでいきたい。

ら、財源確保に取り組んでいきたい。

**再質問** 今年9月まで

に建設場所と、実施設計を同時に議案提出するということですが、実施設計については、昨年度も3,900万円の実設計を無駄にし、来年度は5,000万円ほどの実施設計を組みたいということも言っていました。その場合有利な特定財源や起債が見込めないとなると、実施設計費は無駄にならないのでしょうか。

**答弁** 総務課長

財源として公共施設等整備基金を積み上げ、それを原資として庁舎を建設することが当初からの計画であり、緊急防災減債事業債についても引き続き要望はしていますが、いまだ未確定であり、新たな補助金等は今模索しています。

### 外ヶ濱町有地での太陽光発電について

引き続き要望はしていますが、いまだ未確定であり、新たな補助金等は今模索しています。

**質問** 外ヶ濱町有地は

町の管理ということですが、印南町住民の財産でもあります。その財産について貸与する前提で事業を実施するということが、借地料等の条件について説明をお聞きます。

**答弁** 副課長

外ヶ濱の町有地の貸付賃料の算定根拠につきましては、21年間の長期の貸付であり、また事業用の定期借地契約というものを予定していますので、賃料につきましては土地の価格の1.5%相当額ということ、1㎡当たり200円に設定して

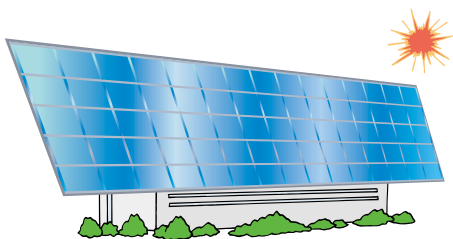
るところでございます。

**再質問** 印南町行財政

の使用料徴収条例には、土地使用料は第2条及び第3条第1項の規定により算出した額に100分の4を乗じて得た額とすると書かれています。普通に考えますと500円から600円になり、安く貸すということについては、議会の議決事項になるかと思うんですが、こういったことは検討されていないのでしょうか。

**答弁** 総務課長

条例は行政財産についてであり、普通財産については明確ではなく、その決定については議会議決は行わない。



# 委員会活動報告

## 決算審査特別委員会

第3回定例会において付託された平成23年度一般会計並びに特別会計の決算認定について特別委員会において審査を実施しました。

審査の内容は、決算書及び各種資料にもとづき町長をはじめ各課、室長、担当職員に説明を求め詳細にわたる5回の審査を実施しました。

印南町においては全ての会計において黒字決算となっており平成23年度においても健全な財政運営がおこなわれたものと評価するもので、全ての会計の決算について認定すべきものと決定しました。

また、特に留意すべき事項（個別事項）として意見を付け加え平成24年度以降の予算執行等に十分活かされる

よう町長に要望しました。

### 個別事項抜粋

#### ●総務・防災危機管理分野

・財源調整のための基金取り崩しについては、十分検討を行い慎重に対応されたい。

・平成23年度未執行の非常用食糧対策については早急な対策を講じられたい。

#### ●民生・教育分野

・社会福祉協議会への障害者相談業務の委託について住民の利便性及び財政負担の合理性からも高く評価するものです。

・子育て施策の一環として実施している「県下一安心保育料」は、実質国の基準の33%前後と非常に低い結果となつています。今後も子育て施策の推進は必要と考えますが、費用対効果を意識した事業の実施に努められたい。

・平成23年度から開園された「いなみこども園」の経営は民間社会福祉法人であるが、町民が安心できる「子育て環境」の確保のため行政の責任において指導、助言に努められたい。

#### ●産業分野

・各種団体補助金については、「産業振興団体補助事業補助金交付要綱」を根拠に全ての団体に対し交付されていますが、それぞれの交付団体、目的にそつ

た要綱を制定し補助金の明瞭化に努められたい。

・これまでの産業行政においては、住民及び団体等の自活努力を基に各種施策に取り組み一定の成果を収めてきたことは評価をするところであるが、現在の閉塞感を打破するうえにおいては、行政による企画提案型の能動的な施策の実施についても検討されたい。

#### ●土木分野

・現在実施している「橋りょう点検調査」にもとづき来年度以降「整備計画」を策定する予定であるが、相当な財政支出を伴うものであり、緊急性及び健全財政の維持を優先した事業選択を検討されたい。

#### ●特別会計分野

・国保会計においては基金の残高も乏しい現状であり、早急な税収等一般財源の確保のための対策を講じられたい。

・農業集落排水事業会計については「使用料」の見直しは今後の経営を維持するための条件であり地域住民の理解を求め計画的に対応されたい。

# 委員会活動報告

## 総務産建常任委員会

10月15日、奈良県宇陀市に野生動物追い払い犬「モンキードッグ」の育成事業についての視察を行いました。宇陀市は平成18年1月に3町1村が市町村合併し新たに宇陀市となりました。人口は印南町の約4倍、世帯数は約3倍。総農家数は世帯数の約2割を占めています。

担当職員からの概要説明ののち、モンキードッグ服従訓練の様子を視察し、飼い主との懇談会を行いました。宇陀市と名張市が平成21年度から希望者を募り、訓練を行いテストに合格した犬をモンキードッグとして登録しています。追い払い犬には、飼い主の命令により追い払うことができること、確実に

に戻ってくることで、人間に危害を加えないことが求められます。訓練は警察犬訓練所で服従、追い払いを訓練し、自己訓練等で約5か月を要するというものでした。

平成23年4月から全国初のモンキードッグクラブを立ち上げ、認定犬は21頭、高いレベルで追い払いのできる広域認定犬は14頭あり、サル群れの雄3頭に発信器を付けており、毎朝メールで居場所が発信され、必要に応じて「モンキードッグ」が出勤しサルを追い払うようになっていきます。

印南町のように猿の被害が深刻ではなく毎日活動していかないということでした。飼い主はボランティアで猿追い払いを行うため、即時に出動はできないということでしたが、「お

金をいただくと仕事より優先しなくてはいけないのでボランティアでいい」というお話でした。課題としては、飼い主がどれだけ積極的に関わられるかということと、モンキードッグが罾や仕掛けに掛らないように地域との連携が重要であるとのことでした。



モンキードッグの視察（奈良県宇陀市）

### （委員長所見）

視察で感じたことは、モンキードッグにより猿を追い払う事で猿による被害を少なくできることは実感しましたが、この視察先と印南町の被害状況が大きく違っているため、印南町での実際の活用は難しいと感じました。

上水道事業【簡易水道統合計画】について平成24年11月6日、生活環境課から説明を受け、印南原簡易水道送水配管工事、古井取水現地、印南原浄水場配水施設を視察しました。

●町簡易水道統合事業計画について

切目川ダム建設に伴い、町内の水の安定供給を図るために、簡易水道組織の統合と町内の送水管や給水管をつなぐ事業です。

現在、印南・印南原・切山・上洞・田ノ垣・切目川の6つの簡易水道組織がありますが、印南・印南原（印南原と切山）・上洞・切目川（切目川と田ノ垣）の4組織に統合し、更にこの4組織を統合して印

南町上水道事業として一本化を計ります。

統合後は上水道事業会計となり、地方公営企業法の適用事業として、経営と財務の透明性を図ることができま

す。また、印南地域においては、印南川の水量不足がありますが、日高川水流の補てんを受けることにより緊急対応できる体制を創り、印南地区の水量不足に対応するものです。

●印南原簡易水道統合事業

切目川ダム貯水整備に伴い安定給水を図ることを目的として、印南原簡易水道と切山簡易水道を統合する事業です。事業費約7億7,000万円。事業期間は平成21年～25年度。平成27年4月給水予定。  
・平成21～22年度は基



印南原水源地の視察

本設計。  
・平成23～25年度は配水管事業9km、導水管事業7km、配水池の設置、遮断弁の設置。

●切目川簡易水道統合事業

田ノ垣簡易水道の谷

水水源を切目川簡易水道（切目川水源）に一本化する事業です。事業期間は23年～27年度。事業費は約9,200万円。

・平成23～24年度は基  
本設計。  
・平成25年～27年は送

水・配水管敷設、配水池の設置、浄水場機材改善。

(委員長所見)

人数が100人から5,000人までの水道設備を簡易水道と呼び、それ以上のものを上水道と呼びます。国の方針で簡易水道事業の一本化、上水道事業化が図られています。

印南町でもこの事業が平成27年に完工すれば、28年度よりおおむね、今まで以上に安全・安心の給水が可能となります。

# 印南かえるのフェスティバル



印南かえるのフェスティバルは、昨年で4回目の開催となりました。2回3回と重ねる度に集客数も増え、内容も充実して参りました。これもひとえに、このイベントを開催するにあたり多くの役員やボランティア、会場周辺のみなさまのご理解、ご協力によるものと感謝している次第であります。

さて、このイベントは、町内の産業振興及び活性化を図ることを目的とし、各種団体などがそれぞれの特産品や商品などの販売やPR、漁船クルージングや乗馬体験などを行っております。こうした取り組みは、出店者自身も楽しみながら、町内外に対し印南町の魅力ある情報を発信することになり大変重要な活動と考えております。

昨年のイベントは、前日の悪天候とは打って変わって好天に恵まれ、また

例年の内容に加え、「出店PR歌合戦」など新しい試みや印南町のキャラクターである「かつくん・えるちゃん」をリニューアルし初披露するなど子ども達から大人まで楽しんでいただき、今まで以上の多くの来場者で賑わい盛大に行うことができました。

また、昨年末には、初めての取り組みとして印南漁港内において、町内の農産物や海産物を販売する「歳末軽トラック市」を開催したところ、このイベントも多くの買い物客で賑わいました。

今後も、これらのイベントを継続的に開催し、まだまだ町内にある農林水産物、加工品や商品をはじめ、さらに新たな商品など販売、PRすることにより、元気な印南町のまちづくりの一翼になればと考えておりますので、みなさまのご参加、ご支援をよろしく願います。

申し上げます。

印南町活性化イベント

実行委員会会長

楠本 勝彦

**あとがき**

あけましておめでとうございます。

国政では、昨年末に自民党政権が誕生し、社会情勢は大きく変わろうとしています。

印南町議会も、行政とともに町の発展に努めていく所存であります。

わかりやすい「議会だより」を目指して編集してまいりますので今年もよろしく申し上げます。

メールアドレス

gikai@town.wakayama-inami.jp

議会広報特別委員会

委員長 杉谷 考祥  
副委員長 榎本 一平  
委員 村上 誠八  
井上 孝夫  
藤越 利広  
西山 徹